



民謡担い手 松島 翔香^{さん}

まつしま しょうか
はまなす会・登別陽春会所属。
青葉小学校6年生。

『北海道知事優勝旗争奪全道民謡決勝大会 幼年・少年少女江差追分の部』で優勝し、三冠を達成。全国大会でも見事優勝を果たした。

私が唄って伝えていきたい 歴史ある民謡を

一つ一つの言葉を大切にしながら
落ち着いて話す姿が印象的な松島さ
んが民謡を始めたのは、祖母の和枝
さんの影響でした。

松島さんは、和枝さんが唄う民謡
を子守歌代わりに聴いて育ち、4歳
で本格的に民謡をはじめます。

「民謡を聴いたり、唄っていると
懐かしい気持ちになって、心が落ち
着きます」と、松島さんは民謡の魅
力を語ります。

5歳のとき、室蘭地区の大会で初
出場と同時に優勝して以来、松島さ
んはめきめきと頭角を現し、昨年8
月に行われた『北海道知事優勝旗争
奪全道民謡決勝大会』では、中学3
年生までが出場する部で優勝。同時
に、この大会の3部門を制覇すると
いう偉業を成し遂げます。

さらにはその後の『第49回江差追
分全国大会・第15回江差追分少年全
国大会』でも力を存分に発揮し、松
島さんは日本の頂点に輝きました。

「民謡をやっていて、一番うれし
かったです」と松島さんは大会を笑
顔で振り返ります。

しかし、その喜びを勝ち取るまで、
松島さんは常に大きなプレッシャー
と戦い続けてきました。「舞台上に
がる直前まで、いつも不安でいつぱ
いです。大会前の練習では、長い時
間練習をしすぎて声をつぶしてしま
つたり、思うように唄えないことが
つらくて体調を崩してしまうことも

あります」

それでも続けられるのは、唄うこ
とが好きだからと松島さんは話しま
す。「指導をしてくださる三上先生
のように何でも唄えるようになって、
歴史ある民謡を私が唄って伝えてい
ければいいと思っています」

そんな松島さんが2012年に挑
戦したいことは『民謡の全国大会巡
りに頑張りたいです』と、新たな目
標に向けて、練習に励んでいます。

「絵を描くのも好きなので、美術部
に入って部活動も頑張りたいです」
と、4月から始まる中学校生活に期
待を膨らませる松島さん。今日も透
き通るようなその声で、歴史ある民
謡を響かせています。



▲優勝旗を手に観客の前で江差追分を披露する松島さん

特集

2012年私の挑戦

5

広報のぼりべつ2012年 1月号